

受 験 番 号					

氏 名	

2015 (平成27) 年度放送大学
大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻

人間発達科学プログラム

筆 記 試 験 問 題

試 験 日 : 2014 (平成26) 年10月5日 (日)

試 験 時 間 : 9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、問題冊子1冊及び解答用紙2枚です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。問題冊子は、表紙、白紙、問題(2頁)、下書き用紙(2枚)の順に綴じられており、合わせて6枚です。冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は「大問題(問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。)」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
7. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
9. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

人間発達科学プログラム 筆記試験問題

次の各問に答えなさい。ただし、第1問については(1)、(2)の2問全てに解答し、第2問については、(1)、(2)のいずれか1問を、自分が専攻したいと思う分野の設問から選択して解答しなさい。

第1問 (全員が解答)

人は自分に危害を加えた相手をなかなか許すことができない。その理由としては、さまざまなことが考えられるが、以下の文章は、その理由の一つと思われる、人間の特性を実証した研究の一部を紹介したものである。以下の文を読み、下の(1)、(2)の間に答えなさい。

One major barrier to expressing repentance is that perpetrators are likely to perceive the charge as inaccurate, excessive, or unfair. For example, in one study (Baumeister, Stillwell, & Wotman, 1990), college students were asked to write accounts of two real-life incidents: one in which they were the victim and another in which they were the perpetrator. Results suggested that relative to victims, perpetrators were more likely to see an offense as stemming from causes that were impulsive, uncontrollable, justifiable, or due to mitigating circumstances. They downplayed the impact of their transgressions and were quick to remember their use of apologies. Perpetrators were also less likely than victims to see their offenses as part of an accumulating set of provocations, instead viewing them as isolated incidents. A study using similar methods (Exline, Yali, & Lobel, 1998a) corroborated and extended these findings. Relative to situations in which they were victims, participants portrayed their own offenses as less harmful, less repeated, less intentional, less malicious, more justifiable and more repairable. They also portrayed their own subsequent responses, as perpetrators, as much more repentant than those of other perpetrators: Participants reported that, relative to those who had transgressed against them, they were much more likely to follow their own transgressions with acknowledgement of their offense, acceptance of responsibility, apologies, requests for forgiveness, restitution, expression of guilt and forgiveness of the victim for another offense. Participants also recalled that, relative to other perpetrators, they less frequently used the destructive responses of blaming the victims, downplaying the offense, and offering insincere apologies. Similar findings were obtained in a field study of business executives, who tended to view their conflict strategies as more reasonable and less antagonistic than those of their opponents (Thomas & Pondy, 1977).

Source: McCullough, M.E., Pargament, K. I. & Thorensen, C.E. (Eds) *Forgiveness - Theory, Research, and Practice*. The Guilford Press, 2001

(1) 文中で紹介されている調査の具体的内容を200字程度で説明しなさい。

(2) この結果から、筆者が人の特性について推測していることを、100字以内で説明しなさい。

第2問

次の(1)、(2)のいずれか1問を選択して解答しなさい。選択にあたっては、自分が専攻したいと思う分野の設問を選び、解答のはじめには、必ずどの問題に対して解答するのかその番号及び分野名を明記すること。

(1) [教育学分野]

現代の日本の教育の強みと弱みを具体的事例で指摘した上で、あなたが修士課程で研究しようとしている教育問題がそれらの事例にどのように関わっているのか、また、その問題に迫る際、どのような意味のある課題の設定とそれに相応しい研究の方法を採ろうと考えているのかを論じなさい。

(800字以内)

(2) [心理学分野]

人の問題解決の過程は、人により、場合により多様な過程として成立する。その多様性があることがどのような意味を持つのか、例えばどう役に立つのか、またどんな困難を引き起こすのかなど、具体例をあげて論じなさい。

また、あなたが計画している修士課程の研究において、人の問題解決過程の多様性がどのような意味を持つのか、論じなさい。

(800字以内)